

授業科目名	競技スポーツ論・実習Ⅰーバスケットボール		授業形態	講義・実技	授業科目区分	専攻科目 (専修科目)		
担当教員名	木葉 一総・三浦 健				補助担当者名			
単位数	6 単位		履修年次	1年次	受け入れ人数	15名程度		
授業の概要	バスケットボールを実技種目の主専攻として選択し、以下の項目に主眼を置いて理解を深め自己の向上を図るとともに、簡単な技術指導ができるようになる。 1. 個人の攻撃に関するスキル 2. 基本的なコンビネーション 3. コーチング・講習会における示範能力 4. 基本的なルールの理解と審判法 5. 大会開催時における運営者の役割							
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法				
				授業期間		定期 試験	その他	割合 %
				授業	テスト	レポート	発表	
	■認知的領域	バスケットボールのルール、個人技術とその審判法、コンビネーションプレーの理解、基本的な審判マニュアルの習得		○	○		○	
■情意的領域	積極的な態度での授業参加、大会運営に対する補助活動、大隅地区大会レベルにおける審判協力		○			○		20
■技能的領域	個人技術のポイントを強調した示範能力、鹿児島県公認審判資格取得レベルの基本的審判法		○	○		○		40
成績評価の基準	最低限2/3以上の出席。バスケットボールに関する基礎知識の理解、個人の基礎技術に関する習得度、授業態度等を総合的に評価する。							
テキスト、教材 参考書	CAOCH'S BIBLE (Sidney Goldstein) Golden Aura バスケットボール指導教本 (日本バスケットボール協会) 大修館書店 バスケットボールの競技規則・マニュアル (日本バスケットボール協会) バスケットボールのルールと審判法 2011 (阿部・木葉) 大修館書店 DVD各種							
履修条件・ 関連科目			備考(教員メッ セージ含む)	バスケットボールの面白さと楽しさを伝えられる存在になってください。				
オフィス・アワー	随時 704研究室(木葉)、主体育室(木葉・三浦)							
授業計画								
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
前1	木葉 一総 三浦 健	オリエンテーション (授業内容説明ならびに班分け等)						
前2	〃	バスケットボールのコンディショニング① (栄養・睡眠・水分補給・怪我の管理・リハビリテーション)			体調管理リストの作成			
前3	〃	審判法の基礎 (1) 審判の役割と責任 審判法の基礎 (2) 責任ラインと責任エリア 審判法の基礎 (3) 直角審判法と6分割審判法 バスケットボール指導デモ (1) A班			マニュアルブック・参考図書の予習			
前4	〃	競技力を向上する会への参加						
前5	〃	審判法の基礎 (4) 見方の4原則 (スペースウォッチング) 審判法の基礎 (5) 見方の4原則 (オールウェズムービング) 審判法の基礎 (6) 見方の4原則 (ペネトレーション) 審判法の基礎 (7) 味方の4原則 (ボクシング・イン) バスケットボール指導デモ (2) B班			マニュアルブック・参考図書の予習			
前6	〃	審判法の基礎 (8) ヴァイオレーションの判定 審判法の基礎 (9) ヴァイオレーションに関するシグナル・ジェスチャー バスケットボール指導デモ (3) C班			マニュアルブック・参考図書の予習			
前7	〃	審判法の基礎 (10) パーソナルファウルの判定 審判法の基礎 (11) パーソナルファウルに関するシグナル・ジェスチャー 審判法の基礎 (12) TOへのレポート方法 指導デモ (4) D班			マニュアルブック・参考図書の予習			
前8	〃	審判法の基礎 (13) スローイン 審判法の基礎 (14) フリースロー 審判法の基礎 (15) 特殊なファウル 指導デモ (5) E班			マニュアルブック・参考図書の予習 レポート提出			
前9	〃	ボールを扱う技術 (1) ストップ&ビヴォット ボールを扱う技術 (2) ボールハンドリング ボールを扱う技術 (3) ドリブルワーク 指導デモ (6) F班			スキルの復習・習得			
前10	〃	ボールを扱う技術 (4) セットショット&ジャンプショット ボールを扱う技術 (5) レイアップ&フックショット ボールを扱う技術 (6) フリースロー 指導デモ (7) G班			スキルの復習・習得			
前11	〃	コンプレイに関する技術 (1) パス&カット コンプレイに関する技術 (2) インサイド・スクリーン コンプレイに関する技術 (3) ハイ・ロー 指導デモ (8) H班			スキルの復習・習得			

前12	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学春季選手権大会 （2）西日本学生選手権 （3）九州大学体育大会 （4）鹿児島県協会主催大会各種 （5）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
前13	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学春季選手権大会 （2）西日本学生選手権 （3）九州大学体育大会 （4）鹿児島県協会主催大会各種 （5）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
前14	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学春季選手権大会 （2）西日本学生選手権 （3）九州大学体育大会 （4）鹿児島県協会主催大会各種 （5）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
前15	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学春季選手権大会 （2）西日本学生選手権 （3）九州大学体育大会 （4）鹿児島県協会主催大会各種 （5）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
後1	〃	バスケットボールのコンディショニング② （形態測定ならびに体力測定）	
後2	〃	バスケットボールのコンディショニング③ （アスレチックトレーニングの現状及びその指導法） トレーニング実習	
後3	〃	テーブルオフィシャルズの任務と注意点 指導デモ（9）A班	マニュアルブック予習
後4	〃	チームとしてのオフィシャルズ（協力） 指導デモ（10）B班	マニュアルブック・バスケットボールのルールと審判法 予習
後5	〃	各レベル別公認審査会に向けてのパワーアップ講義・実習 指導デモ（11）C班	マニュアルブック・バスケットボールのルールと審判法 予習、ルールテスト、フィットネステスト
後6	〃	ウォーミングアップ実習 （1）ボールを使わないもの （2）ボールを使うもの 指導デモ（12）D班	指導教本予習
後7	〃	シューティングドリル実習 指導デモ（13）E班	指導教本予習
後8	〃	1対1における個人技術 （1）ドリブル （2）ステップ 指導デモ（14）F班	指導教本予習
後9	〃	1対1における個人技術 （3）ディフェンス （4）リバウンド 指導デモ（15）G班	指導教本予習
後10	〃	試合におけるベンチワーク実習 （1）タイムアウト （2）交代 指導デモ（16）H班	指導教本予習
後11	〃	試合におけるベンチワーク実習 （3）エンド・オブ・ザ・ゲーム （4）ゲームプランおよびスタイル	指導教本予習
後12	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学秋季リーグ戦（鹿屋開催日） （2）全日本大学選手権（インカレ） （3）三地区大学対抗 （4）ウインターキャンプ イン 鹿屋 （5）都城盆地大会 （6）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
後13	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学秋季リーグ戦（鹿屋開催日） （2）全日本大学選手権（インカレ） （3）三地区大学対抗 （4）ウインターキャンプ イン 鹿屋 （5）都城盆地大会 （6）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり

後14	”	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 (1) 九州大学秋季リーグ戦（鹿屋開催日） (2) 全日本大学選手権（インカレ） (3) 三地区大学対抗 (4) ウィンターキャンプ イン 鹿屋 (5) 都城盆地大会 (6) 大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
後15	”	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 (1) 九州大学秋季リーグ戦（鹿屋開催日） (2) 全日本大学選手権（インカレ） (3) 三地区大学対抗 (4) ウィンターキャンプ イン 鹿屋 (5) 都城盆地大会 (6) 大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり

授業科目名	競技スポーツ論・実習Ⅱーバスケットボール	授業形態	講義・実技	授業科目区分	専攻科目 (専修科目)		
担当教員名	木葉 一総・三浦 健			補助担当者名			
単位数	6 単位	履修年次	2年次	受け入れ人数	10名程度		
授業の概要	バスケットボールを実技種目の主専攻として選択し、以下の項目に主眼を置いて理解を深め自己の向上を図るとともに、簡単な技術指導ができるようになる。 1. 個人の攻撃に関するスキルの習熟 2. 基本的なコンビネーションの習熟 3. コーチング・講習会における示範能力および指示能力 4. 詳細なルールの理解と審判法 5. 大会開催時における運営者の役割						
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標		成績評価の方法				
			授業期間		定期 試験	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表	
	■認知的領域	バスケットボールのルール、個人技術とその審判法、コンビネーションプレーの理解、総合的な審判マニュアルの習得	○	○			40
■情意的領域	積極的な態度での授業参加、大会運営に対する補助活動、鹿児島県大会レベルにおける審判協力	○			○		20
■技能的領域	個人技術のポイントを強調した示範能力および指導能力、日本協会公認審判資格取得レベルの基本的審判法	○	○		○		40
成績評価の基準	最低限2/3以上の出席。バスケットボールに関する基礎知識の理解、個人の基礎技術に関する習得度、授業態度等を総合的に評価する。						
テキスト、教材 参考書	CAOCH'S BIBLE (Sidney Goldstein) Golden Aura バスケットボール指導教本(日本バスケットボール協会) 大修館書店 バスケットボールの競技規則・マニュアル(日本バスケットボール協会) バスケットボールのルールと審判法 2011 (阿部・木葉) 大修館書店 DVD各種						
履修条件・ 関連科目		備考(教員メッ セージ含む)	バスケットボールの面白さと楽しさを伝えられる存在になってください。				
オフィス・アワー	随時 704研究室(木葉)、主体育室(木葉・三浦)						
授業計画							
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
前1	木葉 一総 三浦 健	オリエンテーション(授業内容説明ならびに班分け等)					
前2	〃	バスケットボールのコンディショニング① (栄養・睡眠・水分補給・怪我の管理・リハビリテーション)			体調管理リストの作成		
前3	〃	審判法の基礎(1) 審判の役割と責任 審判法の基礎(2) 責任ラインと責任エリア 審判法の基礎(3) 直角審判法と6分割審判法 バスケットボール指導デモ(1) A班			マニュアルブック・参考図書の子習		
前4	〃	競技力を向上する会への参加					
前5	〃	審判法の基礎(4) 見方の4原則(スペースウォッチング) 審判法の基礎(5) 見方の4原則(オールウェズムービング) 審判法の基礎(6) 見方の4原則(ペネトレーション) 審判法の基礎(7) 味方の4原則(ボクシング・イン) バスケットボール指導デモ(2) B班			マニュアルブック・参考図書の子習		
前6	〃	審判法の基礎(8) ヴァイオレーションの判定 審判法の基礎(9) ヴァイオレーションに関するシグナル・ジェスチャー バスケットボール指導デモ(3) C班			マニュアルブック・参考図書の子習		
前7	〃	審判法の基礎(10) パーソナルファウルの判定 審判法の基礎(11) パーソナルファウルに関するシグナル・ジェスチャー 審判法の基礎(12) TOへのレポート方法 指導デモ(4) D班			マニュアルブック・参考図書の子習		
前8	〃	審判法の基礎(13) スローイン 審判法の基礎(14) フリースロー 審判法の基礎(15) 特殊なファウル 指導デモ(5) E班			マニュアルブック・参考図書の子習 レポート提出		
前9	〃	ボールを扱う技術(1) ストップ&ビュウット ボールを扱う技術(2) ボールハンドリング ボールを扱う技術(3) ドリブルワーク 指導デモ(6) F班			スキルの復習・習得		
前10	〃	ボールを扱う技術(4) セットショット&ジャンプショット ボールを扱う技術(5) レイアップ&フックショット ボールを扱う技術(6) フリースロー 指導デモ(7) G班			スキルの復習・習得		
前11	〃	コンプレイに関する技術(1) パス&カット コンプレイに関する技術(2) インサイド・スクリーン コンプレイに関する技術(3) ハイ・ロー 指導デモ(8) H班			スキルの復習・習得		

前12	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学春季選手権大会 （2）西日本学生選手権 （3）九州大学体育大会 （4）鹿児島県協会主催大会各種 （5）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
前13	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学春季選手権大会 （2）西日本学生選手権 （3）九州大学体育大会 （4）鹿児島県協会主催大会各種 （5）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
前14	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学春季選手権大会 （2）西日本学生選手権 （3）九州大学体育大会 （4）鹿児島県協会主催大会各種 （5）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
前15	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学春季選手権大会 （2）西日本学生選手権 （3）九州大学体育大会 （4）鹿児島県協会主催大会各種 （5）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
後1	〃	バスケットボールのコンディショニング② （形態測定ならびに体力測定）	
後2	〃	バスケットボールのコンディショニング③ （アスレチックトレーニングの現状及びその指導法） トレーニング実習	
後3	〃	テーブルオフィシャルズの任務と注意点 指導デモ（9）A班	マニュアルブック予習
後4	〃	チームとしてのオフィシャルズ（協力） 指導デモ（10）B班	マニュアルブック・バスケットボールのルールと審判法 予習
後5	〃	各レベル別公認審査会に向けてのパワーアップ講義・実習 指導デモ（11）C班	マニュアルブック・バスケットボールのルールと審判法 予習、ルールテスト、フィットネステスト
後6	〃	ウォーミングアップ実習 （1）ボールを使わないもの （2）ボールを使うもの 指導デモ（12）D班	指導教本予習
後7	〃	シューティングドリル実習 指導デモ（13）E班	指導教本予習
後8	〃	1対1における個人技術 （1）ドリブル （2）ステップ 指導デモ（14）F班	指導教本予習
後9	〃	1対1における個人技術 （3）ディフェンス （4）リバウンド 指導デモ（15）G班	指導教本予習
後10	〃	試合におけるベンチワーク実習 （1）タイムアウト （2）交代 指導デモ（16）H班	指導教本予習
後11	〃	試合におけるベンチワーク実習 （3）エンド・オブ・ザ・ゲーム （4）ゲームプランおよびスタイル	指導教本予習
後12	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学秋季リーグ戦（鹿屋開催日） （2）全日本大学選手権（インカレ） （3）三地区大学対抗 （4）ウインターキャンプ イン 鹿屋 （5）都城盆地大会 （6）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
後13	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学秋季リーグ戦（鹿屋開催日） （2）全日本大学選手権（インカレ） （3）三地区大学対抗 （4）ウインターキャンプ イン 鹿屋 （5）都城盆地大会 （6）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり

後14	”	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 (1) 九州大学秋季リーグ戦（鹿屋開催日） (2) 全日本大学選手権（インカレ） (3) 三地区大学対抗 (4) ウィンターキャンプ イン 鹿屋 (5) 都城盆地大会 (6) 大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
後15	”	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 (1) 九州大学秋季リーグ戦（鹿屋開催日） (2) 全日本大学選手権（インカレ） (3) 三地区大学対抗 (4) ウィンターキャンプ イン 鹿屋 (5) 都城盆地大会 (6) 大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり

授業科目名	競技スポーツ論・実習Ⅲーバスケットボール	授業形態	講義・実技	授業科目区分	専攻科目 (専修科目)			
担当教員名	木葉 一総・三浦 健			補助担当者名				
単位数	6 単位	履修年次	3年次	受け入れ人数	15名程度			
授業の概要	バスケットボールを実技種目の主専攻として選択し、以下の項目に主眼を置いて理解を深め自己の向上を図るとともに、チーム指導ができるレベルの総合的なコーチング・スキルを身につける。 1. 個人の攻撃に関するスキルの習熟および指導ポイントの習得 2. 基本的なコンビネーションの習熟及び指導ポイントの習得 3. コーチング・講習会における示範・教示能力および総合的な管理能力 4. チーム戦術・戦略に関する基本的な理解 5. 詳細なルールの理解と審判法 6. 大会開催時における運営者の役割							
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標		成績評価の方法					
			授業期間			定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表		
	■認知的領域	バスケットボールのルール、個人技術とその審判法、コンビネーションプレーの理解、総合的な審判マニュアルの習得	○	○		○		40
■情意的領域	積極的な態度での授業参加、大会運営に対する補助活動、鹿児島県大会レベルにおける審判協力	○			○		20	
■技能的領域	個人技術のポイントを強調した示範能力および指導能力、日本協会公認審判資格取得レベルの基本的審判法	○	○		○		40	
成績評価の基準	最低限2/3以上の出席。バスケットボールに関する基礎知識の理解、個人の基礎技術に関する習得度、授業態度等を総合的に評価する。							
テキスト、教材 参考書	CAOCH'S BIBLE (Sidney Goldstein) Golden Aura バスケットボール指導教本 (日本バスケットボール協会) 大修館書店 バスケットボールの競技規則・マニュアル (日本バスケットボール協会) バスケットボールのルールと審判法 2011 (阿部・木葉) 大修館書店 DVD各種							
履修条件・ 関連科目		備考(教員メッ セージ含む)	バスケットボールの面白さと楽しさを伝えられる存在になってください。					
オフィス・アワー	随時 704研究室(木葉)、主体育室(木葉・三浦)							
授業計画								
回	担当教員名	授業内容		授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
前1	木葉 一総 三浦 健	オリエンテーション (授業内容説明ならびに班分け等)						
前2	〃	バスケットボールのコンディショニング① (栄養・睡眠・水分補給・怪我の管理・リハビリテーション)		体調管理リストの作成				
前3	〃	審判法の基礎 (1) 審判の役割と責任 審判法の基礎 (2) 責任ラインと責任エリア 審判法の基礎 (3) 直角審判法と6分割審判法 バスケットボール指導デモ (1) A班		マニュアルブック・参考図書の子習				
前4	〃	競技力を向上する会への参加						
前5	〃	審判法の基礎 (4) 見方の4原則 (スペースウォッチング) 審判法の基礎 (5) 見方の4原則 (オールウェズムービング) 審判法の基礎 (6) 見方の4原則 (ベネトレーション) 審判法の基礎 (7) 味方の4原則 (ボクシング・イン) バスケットボール指導デモ (2) B班		マニュアルブック・参考図書の子習				
前6	〃	審判法の基礎 (8) ヴァイオレーションの判定 審判法の基礎 (9) ヴァイオレーションに関するシグナル・ジェスチャー バスケットボール指導デモ (3) C班		マニュアルブック・参考図書の子習				
前7	〃	審判法の基礎 (10) パーソナルファウルの判定 審判法の基礎 (11) パーソナルファウルに関するシグナル・ジェスチャー 審判法の基礎 (12) TOへのレポート方法 指導デモ (4) D班		マニュアルブック・参考図書の子習				
前8	〃	審判法の基礎 (13) スローイン 審判法の基礎 (14) フリースロー 審判法の基礎 (15) 特殊なファウル 指導デモ (5) E班		マニュアルブック・参考図書の子習 レポート提出				
前9	〃	ボールを扱う技術 (1) ストップ&ピヴォット ボールを扱う技術 (2) ボールハンドリング ボールを扱う技術 (3) ドリブルワーク 指導デモ (6) F班		スキルの復習・習得				
前10	〃	ボールを扱う技術 (4) セットショット&ジャンプショット ボールを扱う技術 (5) レイアップ&フックショット ボールを扱う技術 (6) フリースロー 指導デモ (7) G班		スキルの復習・習得				
前11	〃	コンプレイに関する技術 (1) パス&カット コンプレイに関する技術 (2) インサイド・スクリーン コンプレイに関する技術 (3) ハイ・ロー 指導デモ (8) H班		スキルの復習・習得				

前12	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学春季選手権大会 （2）西日本学生選手権 （3）九州大学体育大会 （4）鹿児島県協会主催大会各種 （5）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
前13	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学春季選手権大会 （2）西日本学生選手権 （3）九州大学体育大会 （4）鹿児島県協会主催大会各種 （5）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
前14	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学春季選手権大会 （2）西日本学生選手権 （3）九州大学体育大会 （4）鹿児島県協会主催大会各種 （5）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
前15	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学春季選手権大会 （2）西日本学生選手権 （3）九州大学体育大会 （4）鹿児島県協会主催大会各種 （5）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
後1	〃	バスケットボールのコンディショニング② （形態測定ならびに体力測定）	
後2	〃	バスケットボールのコンディショニング③ （アスレチックトレーニングの現状及びその指導法） トレーニング実習	
後3	〃	テーブルオフィシャルズの任務と注意点 指導デモ（9） A班	マニュアルブック予習
後4	〃	チームとしてのオフィシャルズ（協力） 指導デモ（10） B班	マニュアルブック・バスケットボールのルールと審判法 予習
後5	〃	各レベル別公認審査会に向けてのパワーアップ講義・実習 指導デモ（11） C班	マニュアルブック・バスケットボールのルールと審判法 予習、ルールテスト、フィットネステスト
後6	〃	ウォーミングアップ実習 （1）ボールを使わないもの （2）ボールを使うもの 指導デモ（12） D班	指導教本予習
後7	〃	シューティングドリル実習 指導デモ（13） E班	指導教本予習
後8	〃	1対1における個人技術 （1）ドリブル （2）ステップ 指導デモ（14） F班	指導教本予習
後9	〃	1対1における個人技術 （3）ディフェンス （4）リバウンド 指導デモ（15） G班	指導教本予習
後10	〃	試合におけるベンチワーク実習 （1）タイムアウト （2）交代 指導デモ（16） H班	指導教本予習
後11	〃	試合におけるベンチワーク実習 （3）エンド・オブ・ザ・ゲーム （4）ゲームプランおよびスタイル	指導教本予習
後12	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学秋季リーグ戦（鹿屋開催日） （2）全日本大学選手権（インカレ） （3）三地区大学対抗 （4）ウィンターキャンプ イン 鹿屋 （5）都城盆地大会 （6）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
後13	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学秋季リーグ戦（鹿屋開催日） （2）全日本大学選手権（インカレ） （3）三地区大学対抗 （4）ウィンターキャンプ イン 鹿屋 （5）都城盆地大会 （6）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり

後14	”	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 (1) 九州大学秋季リーグ戦（鹿屋開催日） (2) 全日本大学選手権（インカレ） (3) 三地区大学対抗 (4) ウィンターキャンプ イン 鹿屋 (5) 都城盆地大会 (6) 大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
後15	”	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 (1) 九州大学秋季リーグ戦（鹿屋開催日） (2) 全日本大学選手権（インカレ） (3) 三地区大学対抗 (4) ウィンターキャンプ イン 鹿屋 (5) 都城盆地大会 (6) 大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり

授業科目名	競技スポーツ論・実習IV-バスケットボール	授業形態	講義・実技	授業科目区分	専攻科目 (専修科目)			
担当教員名	木葉 一総・三浦 健			補助担当者名				
単位数	6 単位	履修年次	4 年次	受け入れ人数	15 名程度			
授業の概要	バスケットボールを実技種目の主専攻として選択し、以下の項目に主眼を置いて理解を深め自己の向上を図るとともに、チーム指導ができるレベルの総合的なコーチング・スキルを身につける。 1. 個人の攻撃に関するスキルの習熟および指導ポイントの習得 2. 基本的なコンビネーションの習熟及び指導ポイントの習得 3. コーチング・講習会における示範・教示能力および総合的な管理能力 4. チーム戦術・戦略に関する基本的な理解 4. 詳細なルールの理解と審判法 5. 大会開催時における運営者の役割							
授業の到達目標及び成績評価の方法	授業の到達目標			成績評価の方法				
				授業期間		定期試験	その他	割合%
				授業	テスト			
	■認知的領域	バスケットボールのルール、個人技術とその審判法、コンビネーションプレーの理解、総合的な審判マニュアルの習得	○	○				
■情意的領域	積極的な態度での授業参加、大会運営に対する補助活動、鹿児島県大会・九州大会レベルにおける審判協力	○			○			20
■技能的領域	個人技術ならびに集団技術のポイントを強調した示範能力および指導能力、日本協会公認審判資格取得レベルの基本的審判法	○	○		○			40
成績評価の基準	最低限2/3以上の出席。バスケットボールに関する基礎知識の理解、個人の基礎技術に関する習得度、授業態度等を総合的に評価する。また県公認、日本協会公認、ならびに上級審判員取得を考慮する。							
テキスト、教材参考書	CAOCH'S BIBLE (Sidney Goldstein) Golden Aura バスケットボール指導教本 (日本バスケットボール協会) 大修館書店 バスケットボールの競技規則・マニュアル (日本バスケットボール協会) バスケットボールのルールと審判法 2011 (阿部・木葉) 大修館書店 DVD各種							
履修条件・関連科目		備考(教員メッセージ含む)	バスケットボールの面白さと楽しさを伝えられる存在になってください。					
オフィス・アワー	随時 704研究室(木葉)、主体育室(木葉・三浦)							
授業計画								
回	担当教員名	授業内容		授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
前1	木葉 一総 三浦 健	オリエンテーション (授業内容説明ならびに班分け等)						
前2	〃	バスケットボールのコンディショニング① (栄養・睡眠・水分補給・怪我の管理・リハビリテーション)		体調管理リストの作成				
前3	〃	審判法の基礎 (1) 審判の役割と責任 審判法の基礎 (2) 責任ラインと責任エリア 審判法の基礎 (3) 直角審判法と6分割審判法 バスケットボール指導デモ (1) A班		マニュアルブック・参考図書の予習				
前4	〃	競技力を向上する会への参加						
前5	〃	審判法の基礎 (4) 見方の4原則 (スペースウォッチング) 審判法の基礎 (5) 見方の4原則 (オールウェズムービング) 審判法の基礎 (6) 見方の4原則 (ペネトレーション) 審判法の基礎 (7) 味方の4原則 (ボクシング・イン) バスケットボール指導デモ (2) B班		マニュアルブック・参考図書の予習				
前6	〃	審判法の基礎 (8) ヴァイオレーションの判定 審判法の基礎 (9) ヴァイオレーションに関するシグナル・ジェスチャー バスケットボール指導デモ (3) C班		マニュアルブック・参考図書の予習				
前7	〃	審判法の基礎 (10) パーソナルファウルの判定 審判法の基礎 (11) パーソナルファウルに関するシグナル・ジェスチャー 審判法の基礎 (12) TOへのレポート方法 指導デモ (4) D班		マニュアルブック・参考図書の予習				
前8	〃	審判法の基礎 (13) スローイン 審判法の基礎 (14) フリースロー 審判法の基礎 (15) 特殊なファウル 指導デモ (5) E班		マニュアルブック・参考図書の予習 レポート提出				
前9	〃	ボールを扱う技術 (1) ストップ&ビヴォット ボールを扱う技術 (2) ボールハンドリング ボールを扱う技術 (3) ドリブルワーク 指導デモ (6) F班		スキルの復習・習得				
前10	〃	ボールを扱う技術 (4) セットショット&ジャンプショット ボールを扱う技術 (5) レイアップ&フックショット ボールを扱う技術 (6) フリースロー 指導デモ (7) G班		スキルの復習・習得				
前11	〃	コンプレイに関する技術 (1) パス&カット コンプレイに関する技術 (2) インサイド・スクリーン コンプレイに関する技術 (3) ハイ・ロー 指導デモ (8) H班		スキルの復習・習得				

前12	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学春季選手権大会 （2）西日本学生選手権 （3）九州大学体育大会 （4）鹿児島県協会主催大会各種 （5）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
前13	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学春季選手権大会 （2）西日本学生選手権 （3）九州大学体育大会 （4）鹿児島県協会主催大会各種 （5）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
前14	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学春季選手権大会 （2）西日本学生選手権 （3）九州大学体育大会 （4）鹿児島県協会主催大会各種 （5）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
前15	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学春季選手権大会 （2）西日本学生選手権 （3）九州大学体育大会 （4）鹿児島県協会主催大会各種 （5）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
後1	〃	バスケットボールのコンディショニング② （形態測定ならびに体力測定）	
後2	〃	バスケットボールのコンディショニング③ （アスレチックトレーニングの現状及びその指導法） トレーニング実習	
後3	〃	テーブルオフィシャルズの任務と注意点 指導デモ（9）A班	マニュアルブック予習
後4	〃	チームとしてのオフィシャルズ（協力） 指導デモ（10）B班	マニュアルブック・バスケットボールのルールと審判法 予習
後5	〃	各レベル別公認審査会に向けてのパワーアップ講義・実習 指導デモ（11）C班	マニュアルブック・バスケットボールのルールと審判法 予習、ルールテスト、フィットネステスト
後6	〃	ウォーミングアップ実習 （1）ボールを使わないもの （2）ボールを使うもの 指導デモ（12）D班	指導教本予習
後7	〃	シューティングドリル実習 指導デモ（13）E班	指導教本予習
後8	〃	1対1における個人技術 （1）ドリブル （2）ステップ 指導デモ（14）F班	指導教本予習
後9	〃	1対1における個人技術 （3）ディフェンス （4）リバウンド 指導デモ（15）G班	指導教本予習
後10	〃	試合におけるベンチワーク実習 （1）タイムアウト （2）交代 指導デモ（16）H班	指導教本予習
後11	〃	試合におけるベンチワーク実習 （3）エンド・オブ・ザ・ゲーム （4）ゲームプランおよびスタイル	指導教本予習
後12	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学秋季リーグ戦（鹿屋開催日） （2）全日本大学選手権（インカレ） （3）三地区大学対抗 （4）ウインターキャンプ イン 鹿屋 （5）都城盆地大会 （6）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
後13	〃	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 （1）九州大学秋季リーグ戦（鹿屋開催日） （2）全日本大学選手権（インカレ） （3）三地区大学対抗 （4）ウインターキャンプ イン 鹿屋 （5）都城盆地大会 （6）大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり

後14	”	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 (1) 九州大学秋季リーグ戦（鹿屋開催日） (2) 全日本大学選手権（インカレ） (3) 三地区大学対抗 (4) ウィンターキャンプ イン 鹿屋 (5) 都城盆地大会 (6) 大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり
後15	”	次の集中授業（各6時間）の中から二つ（8コマ分）を選択し、競技・運営・審判・広報等に関する実習活動とすること。 (1) 九州大学秋季リーグ戦（鹿屋開催日） (2) 全日本大学選手権（インカレ） (3) 三地区大学対抗 (4) ウィンターキャンプ イン 鹿屋 (5) 都城盆地大会 (6) 大隅地区主催大会（各種）	報告義務あり